

議会運営委員会研修

報告

一般質問、一人で3時間以上に及ぶことも

日程 8月16・17日

研修先 宮崎県

小林市、清武町

16日・小林市議会

市の概要

面積 4万7423㎡

人口 4万1000人

H18年 須木村と合併

○議案修正の事例

振興総合計画の文言の修正があった。

○議案審査の形態

新年度一般会計予算は、全議員による「審査特別委員会」を設置。

一般会計決算は議長、監査委員を除いて「決算審査特別委員会」を設置。

○その他・会派制

○一般質問の形態

質問時間を一人40分以内。ただし答弁と合わせると3時間にも及ぶことがあり検討課題となつて

いる。

17日・清武町

面積 4781㎡

人口 2万8900人

空港、港、高速インターに近く交通便に恵まれ、宮崎大学医学部、宮崎女子短期大学、宮崎国際大学などがある学園都市として発展している。

○議案修正の事例

H16年 一般会計補正予算の修正動議など。

○一般質問の形態

質問時間一人45分。

○その他申し合わせ

所属委員会の委員長報告への質疑はしない。

活力ある町政が議会と執行部一体となつて取り組まれていることを、当町の町政に活かしたい。

分かりやすい
見やすい
広報に役立てたい

議会広報編集特別委員会

第66回 町村議会広報研修会



広報の研修（シェンバツハ砂防）

8月29・30日、一泊二日で「第66回全国町村議会広報研修会」に参加し、議会広報の編集技術を研修した。

○会場 東京・シェンバツハ砂防

○参加者 広報委員5名と事務局長。全体研修者480名のうち熊本県より7町村23名。

読者に分かりやすい文章を
講師 高崎みどり氏

文章を書くとき「誰にとって分かりやすい」文章

なのか。読む人の立場にたつて分かりやすくなっているか？

読み手のもつ関心・情報を推し量つて、関心に見合うように編集する。

文章だけでなく表や写真、イラストなどを活用して読者にわかりやすくなっているかを、自己点検することが大切。

役立った広報の現物批評
講師 城市 創氏

全国から提出された10自治体の、広報誌現物を

使つて、改善点が指摘された。

出展広報のページ数は、最少8ページ、最高30ページまであり、発行歴は、最高115号。わが町の41号より歴史の長いものばかりである。

漢字を多用すると、紙面が余計に字ばつかりに見える、読む気がそがれるという事例も。

実例を使つて、良い点、改善点の指摘があり、わが町の広報の編集に役立つ点が多くありました。



議会運営の研修（宮崎県清武町）